

1. 件名：柏崎刈羽原子力発電所 6 号炉及び 7 号炉における基準地震動の変更が不要である説明文書に関する面談について
2. 日時：令和 4 年 1 月 3 1 日(月) 1 3 時 3 0 分～ 1 5 時 1 5 分
3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室
4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）
原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門
内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与
原子力規制庁 長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
呉地震・津波政策研究官※、田島技術研究調査官、
東京電力ホールディングス株式会社
原子力設備管理部 建築総括担当部長 部長 他 7 名※
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 提出資料
〈〈本年 1 月 2 4 日に受取済み〉〉
・柏崎刈羽原子力発電所における標準応答スペクトルに基づく評価について

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	と原子力規制庁タニです。時間になりましたので、本日の面談を始めたいと思います。
0:00:08	面談の内容としては、柏崎刈羽初原子力発電所における標準応答スペクトルに基づく評価についてということで、1月に4日先週、前もって資料提出いただいてまして。
0:00:22	この内容について行いたいと思います。まず資料の方説明お願いいたします。
0:00:29	はい東京電力杉本でございます1月24日付の資料でご説明をさせていただきます。御説明については
0:00:37	前回の面談でご説明をさせていただいた内容から追加した場所ですとか変更を加えさせていただいた箇所を適正化させていただいた箇所についてのご説明ということで考えておりますがそれでよろしいでしょうか。
0:00:54	はい、そのように進めてください。
0:00:57	はい。東京電力杉本で承知いたしましたではご説明の方させていただきますまずですね1ページ目のコメントのリストのところのナンバー2の部分ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:10	そこにつきまして追加の検討を実施してございますのでそこをまずご説明をさせていただきたいと思っておりますので40ページをお願いいたします。
0:01:26	この部分
0:01:29	地下構造モデルの同定に用いたそのターゲット等は異なる傾向にある観測記録に対する分析の部分でございまして、前回の面談で計量的な検討という点でご指摘をいただきましたことを踏まえまして、
0:01:43	レシーバー関数のその到来別、将来方向別の整理において特徴が異なっていた領域に対しまして、フォワードうけん計算ということで試行錯誤的にですねモデルの検討を行いましてもう少しその、
0:01:57	地盤増幅特性への影響を定量的に確認するということを試みまして追加をさせていただいたものでございます。
0:02:05	検討につきましては逆解析により同定した地下構造モデル大深度モデルを基にしまして、レシーバー関数の特徴が異なっていて、かつ、その観測記録を整理した際のばらつきがその領域の中で小さかった。
0:02:21	領域Cのレシーバー関数を対象としまして、
0:02:25	これと整合するモデルを検討したというものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:30	まずはそのモデルの層厚については前回ご説明させていただいたそのパラメータスタディの結果を踏まえまして2次元地下構造モデルを参考に検討したと。
0:02:41	ということでございます。それから併せて速度についても逆解析の探索範囲を基にですね検討を加えております。減衰については変更は行ってございませんでこういった条件で試行錯誤的にですねその他。
0:02:55	レシーバー関数を説明できるようなモデルを検討したということでそのモデルの設定が左下のモデルになりまして、
0:03:04	その場合のレシーバーカードの再現の状況が右下の方になってございます。
0:03:10	この領域の特徴として見られておりましたレシーバー関数の0.6秒と1.5秒付近のピーク。
0:03:19	これは再現ができていうことございまして合わせてP波部エイチオーバーブイについても概ね再現できているということでございます。それでこのモデルの地震基盤相当から解放基盤表面までの伝達関数と、
0:03:33	これをもとの大深度モデルによるものと比較いたしますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:37	ほぼ同じということを確認いたしまして、従いましてその到来方向による増幅特性の影響はないと。
0:03:45	いうことは前回ご説明させていただきましたこのパラメータスタディに加えて、もう少しより定量的に今回の試行錯誤的に設定したモデルについて、
0:03:57	もう確認をすることができたと、いうことを考えているということでございます。
0:04:02	こういった欠検討も追加させていただきましたとしまして結論としましては次ページに書いておりまして残前回と変わりませんが、今回設定したその大振動モデルというのは荒浜側及び大湊側ともに、
0:04:15	その標準応答スペクトルの評価に用いる上では、敷地の増幅特性を代表するとみなすことができる。
0:04:22	1次元地下構造モデルであるというふうに考えているというものでございます。
0:04:27	追加させていただきました検討としてはこの1点でございます。その他、前回のご指摘を踏まえまして記載の充実化適正化を図ってございますので、順にご説明をさせていただきたいと思いますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:42	まずは 37 ページをお願いいたします。
0:04:49	こちらの最後の文章のところの最後の四角の部分でございますけれども ここの検討は湊側のパラメータスタディの検討をお示しさせていただいたものでしたが荒浜側はというご指摘もございましたので、荒浜側につきましてはは到来方向による、
0:05:07	レシーバー関数の特徴が大きく異なる傾向は見られていないと。
0:05:11	ということと、それが 2 次元断面の地質構造とも対応しているということ を、こちらに追記してございます。
0:05:20	それから続いて 43 ページでございますけれども、
0:05:28	こちらの大田部のお話部分でございますして、甲田部の工事モードの影響 ということでございますして、小さいポツの最後の箇所でございますけれども、
0:05:42	ここでは
0:05:44	今回のこの検討で香田が一次ピーク周波数をフィッティングさせて用い ていると。
0:05:50	ということございまして、この一次ピーク周波数については一次モード まで考慮した理論値とそれから 5 次モードまで考慮した理論値、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:00	この両者で変化しないということを確認しているということでございましたのでその逆解析の結果に影響するのかもしれないのかという観点では逆解析の結果には影響してこないと一次ピークを合わせる上では、
0:06:13	ここは一次モードでも5次モードでも変わらないということを確認している。
0:06:18	ということでございます。
0:06:22	続きまして65ページをお願いいたします。
0:06:29	ここでは様の知見、Q値との比較をした際の考え方ということございまして前回ちょっとご説明が不十分だった点でございます。
0:06:40	既往の知見の伝播経路特性のQ値等、それから大振動モデルで設定した。
0:06:46	地震基盤以浅のQ値の比較におきましては、これは直接比較できるものではないんですけれども、より浅い地盤になりまして速度小さい層歩道旧値が小さくなると。
0:06:59	いうことを踏まえて、伝播経路特性のQ値の下限値と同等またはそれよりも小さいQ値ということになって、この伝播経路特性のQ値の下限値を対応した関係にあるということを確認をしている。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:14	いうことをこちらで1枚追加して明確にさせていただきます。
0:07:18	そういった比較を運営意向の66ページから6ページ、68ページまでです ね、T O K I Oの知見との比較を行って確認をしているということ でございます。
0:07:30	それから68ページの野田ほかの知見につきましては元の知見がその伝 播経路特性のQ値に関する知見であるということがちょっと不明確なっ ていましたのでそこを明確に修正させていただきました。
0:07:44	この事件と大新藤モデルの比較で対応を確認をしていると。
0:07:50	いうことでございます。
0:07:52	それから既往の知見との比較については、ちょっとすみません戻って ただいて61ページですけれども。
0:08:02	61ページでは位相速度との比較に関しまして、深部の設定の妥当性を確 認するために低周波数側の位相速度との整合を確認しているというわけ ですがその位置付けを明確にさせていただいたと。
0:08:17	ということとそれから高周波数側についてはやや違いが生じているわけ ですけれども、その理由として考えられることとこのことの分析は追記を させていただいておりますので加えましてというか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:30	の浅い部分ですね標高 1000 名 - 1000 メートル程度以浅の浅い部分の妥当性については、別途 P S 検層ですとか速記録の伝達関数との整合を確認することによって妥当性を検証していると。
0:08:44	なのでここでは深い部分の参照としてこの位相速度を見たというところの考え方を明確に整理をさせていただいているというものでございます。
0:08:55	続きまして 75 ページをお願いいたします。
0:09:02	こちらについては統計的グリーン関数法によるシミュレーションの仮称でございます、仮に F 末を考慮しない場合の検討というのを行いましたけれども、
0:09:14	この位置付けが不明確であるというご指摘ございましたので、改めて中段の箱書きの中を整理してございます。
0:09:22	大振動モデルではその観測記録に基づく減衰の値を採用しました一方で、S G F モデルでは震源だけでなく地盤の影響も含む F M A C C S による保守性を考慮した設定になっていて、
0:09:36	全挿一律の減衰の値を採用しているということです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:40	一方で観測記録に基づく厳正を対応した大深度モデルによるシミュレーションにおいても、SGF2モデル、SGFモデルによる場合と同じFMACCSの設定を用いてございますので、
0:09:52	このFMACCSの震源だけでなく地盤の影響の部分と、それから観測記録に基づく大深度モデルの地盤増特性等を考慮したことによって、
0:10:04	FMACCSホールFMACCSによる補正がなされるその短周期側においては、観測記録よりもやや小さめの傾向が見られたことが考えられる。
0:10:14	ということでございまして、以上を踏まえまして、仮にFマックスを考慮しない場合のSGFの結果と観測記録の比較を確認することによって、
0:10:24	この観測記録よりもやや小さめの傾向が見られたということの要因が、
0:10:29	大深度モデルの地盤増幅特性そのものの過小評価にあるものではないということが、これは検証が可能であるというふうに考えてこの確認を行ったもの。
0:10:40	ということでございます。この関係を整理するために次の76ページに少し図を追加してございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:50	この下の絵の中の真ん中の①ですねこの結果で中越沖地震におきましては観測記録よりもやや小さめの傾向が見られたと。
0:10:59	ということで、大深度モデルによる地盤増幅特性そのものの妥当性を検証するという観点で、
0:11:07	震源だけでなく地盤の影響も含め不M A C C Sを仮に考慮しない、②の方の結果ですね、これと観測記録を比較いたしました。
0:11:17	この②の結果が観測記録に対して過小とはならないことを確認することによりまして、①の結果で、観測記録よりもやや小さめの傾向が見られたということの要因が、
0:11:30	最新のモデルによる、その地盤増幅特性そのものの過小評価にあるものではない。
0:11:35	ということはこれは少なくとも減少することが可能であるというふうに考えられて、評価を行っているということでございます。
0:11:43	結果は77ページでございます。この結果は前回お示したものと変わりがございませんけれども、UD方向を含めて観測記録に対して過小とはならないということが確認できてございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:57	従って、大臣のモデルによる S G F の結果で観測記録よりもやや小さめの傾向が見られたことの要因が、大深度モデルによる地盤増幅特性そのものの過小評価にあるものではないと。
0:12:09	いうふうに考えられるということをお示したものでございます。
0:12:16	続きまして、120 ページの方に飛んでいただければと思います。
0:12:27	120 ページは荒浜側のはぎとり地盤モデルへの影響確認ということでございまして標高-250メートル以深で大深度モデルに置き換えた場合の検討ということでございますけれども。
0:12:39	前回お示ししていたのた速度が異なっているということでその S 波速度のみを変えた検討結果をお示ししてございましたけれどもご指摘の趣旨はその減衰も含めてそうとして置き換えた場合と、
0:12:52	ということで計算をやり直しまして結果を修正してございます。結果としましては減衰を含めてそうとして置き換えましても、としては前回お示しさせていただいたりとほとんど変わりませんで傾向は全く同じでございます。
0:13:06	はぎとり地盤モデルの設定を用いた場合の方が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:10	大新藤モデルの設定を用いた場合よりもわずかに上回っている関係にあります。保守的な評価になっていることを確認してごさいます。結論としては前回お示した内容から変更ごさいません。計算をやり直させていただいて、
0:13:26	それから最後に 123 ページでございませけれども、
0:13:31	荒浜側におけるその施設の固有周期の確認ということでございましてこちらは湊側と同様に網羅的に確認を行ってございましてその内容につきまして追記をさせていただきます。
0:13:45	網羅的に確認を行った結果、荒浜側では周期約 2 秒以上の長周期側に、鉛直方向の固有周期を有する施設は存在しないと。
0:13:55	ということを確認してございませるのでこういった記載を追加させていただきます
0:14:02	変更させていただきます箇所に関するご説明は以上となります。
0:14:14	規制庁タニご説明ありがとうございました。
0:14:19	前回の面談で、確認して、ような内容のことが、資料に反映されているというふうに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:26	思いましたんで、ちょっとですね全体の話も含めて、ちょっと私の方から確認していきたいと思うんですけども。
0:14:35	これ
0:14:36	前も同じような質問ひょっとしたらしてるんだと思うんですけど。
0:14:40	今回のですね地下構造モデル。
0:14:42	この扱いについてなんですけど。
0:14:46	資料を読んでみまして、東京電力の考えというのが、いろんなところには書かれているんですけども。
0:14:55	これは、
0:14:57	今回の
0:14:59	地下構造モデルというのは、大深度モデルですね。
0:15:02	これは標準応答スペクトルの検討を念頭に、新しい、新しい地下構造モデルを作ったっていうようなことが書かれているんですけど。
0:15:12	これはあれですか、もう標準応答スペクトルの検討にしか今のところは用いないっていうようなモデルだと、いうふうなことなんですか。
0:15:24	はい。東京電力杉本です土壌とスペクトルの評価に適切なモデルとして今回作ったモデルということでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:34	規制庁谷です。今ちょっと話してもしょうがないのかもしれないですけど、この今回地下構造モデルっていうのを作ったものを使って、例えば今後ですね。
0:15:45	統計的グリーン関数とか、他の地震動に使おうとかそういった
0:15:52	地下構造モデルを
0:15:54	なんていうんですかね。
0:15:55	敷地の地下構造モデルとして作っているようなものではないっていう理解で大丈夫ですか。
0:16:03	東京電力杉本です。そういう点では今回このままSGFに使えるものではないというのはいろいろ検討してそういう分析をしてますけれども、速度、
0:16:14	構造として同定した結果ってのは新たなデータに基づいてということでもございますので、そこは今後、
0:16:22	今回地下構造モデルのこれだけでいいんだっていうことでもございませんで、そこはまた観測記録の蓄積も踏まえて、しっかりと検討は続けていくものだというふうには考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:36	はい規制庁タニです考えの事実確認はできましたけど、ちょっとその辺がですね、このなんか前置きのところとかで書かれているところから、正確にこう取れないと、何か。
0:16:49	そんな雰囲気のことには書かれてるのはわかってるんですけども。
0:16:52	ちょっとその辺はっきり、今回の地下構造モデルは、こういうものであるっていうのをですね、書いていただけたらというのが、
0:17:00	思っています。
0:17:04	状況ですので、ちょっと承知いたしましたご承知しました。はい。
0:17:11	はい。規制庁谷です。あとはですねもう1点は、ちょっと資料わかりやすくという観点でお願いなんですけれども。
0:17:20	ちょっと何て言うんですかね、これまでのS G Fモデルってしてたモデルで、今回のモデルというのの関係ですね。それがですね。
0:17:30	なんていうんすかね進捗とかも含めて、例えば、観測記録がどこまであって、大深度ボーリングのP S 検層がどこまであって、
0:17:40	こういうところがデータがとられたとか、
0:17:43	S G F っていうものについても、この範囲が何に使われてる。例えば、財宝から剥ぎ取りはの検討に使われている区間。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:53	そして、留萌に使われている区間。
0:17:56	そしてその下はS G F のレベルの確認ですかね。
0:18:01	E G F の、このレベルの確認に使われている区間と、そういった何て言うんすかね深度のイメージで。
0:18:10	ちょっと経緯も含めて、今回の大深度モデルはどういうモデルなんだといったですね、どういうモデルというか、どこまでをどういうふうに見直して、
0:18:21	例えば県妥当性の検証も、こういったデータで、こういった範囲を検証しているんだとかいうのがですね、ちょっと深度も絡めて、
0:18:31	何ていうんですかね、整理を、1枚でわかりやすいような資料があった方が、ちょっと理解が進むかなと思ってるんですけど。
0:18:40	どうですかね。
0:18:43	東京電力スギモトつご出資は承知しました今までのS G F モデルがどう、
0:18:50	どういう使われ方をされていて今回新たに設定者大深度モデルがこうでということ1枚に整理してご説明できるように、追加をしたい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:02	規制庁刀禰です。だからその間に、追加調査じゃないですけど調査がこ う加えられたりしてるとか。
0:19:12	えっとね、多分イメージ、規制庁の会田ですけど多分思ってるイメージ とうちが持っているイメージが多分、返りがあればあって、
0:19:19	そうそう漏れ機許可の時で使っていた地盤高地盤モデルってのがあって 今いわゆるS G Fモデルという形、今してます。
0:19:29	けども、そのS G Fモデルはどういう考え方で作ったんですか。
0:19:34	まずは
0:19:35	だからもともとははぎとり地盤モデルがあって、
0:19:40	S G Fにするためにその下の構造検証用という形でやるためにその下の 構造をもうつけさせた形でもって、一体モデルとして、とりあえず作っ た。
0:19:52	だけど、
0:19:54	そこの部分で、じゃあ、前の一体モデルとしてやったやつは、荒浜側を 見た湊蒲生、どういう地震計があってそのデータと、
0:20:08	どういうデータに基づいてやってます、作っていてどういうフィッティ ングこういう形でされていますっていう、まず前提がある。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:15	今回、大深度モデルというのを作ったんで
0:20:19	それを作るにあたって、新たなデータとしては
0:20:24	都市部ボーリングのS、
0:20:25	A、
0:20:26	深いところまでのP S 検層結果
0:20:29	とか、深部ボーリングによって獲られた地震。
0:20:32	とかっていうのがあって、それに基づいて、この範囲でもって、同定を してあげてこういう形でもってよくあるのでこういう、
0:20:40	作りまして形で、
0:20:42	てるんだけど。
0:20:43	それを1枚を表現して欲しい。
0:20:46	左側に、前のS G F エスモデルと言ってるものについては、P S 検層モ デル。
0:20:51	じゃねえ。P S 件数
0:20:53	恥といいモデルという形でもって、速度構造、S S P S 検層のやつと、 あと、昔からある形でもって同定してる形でもって
0:21:05	ここまではきちんと剥ぎ取りとしてきちんとありますよと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:08	逆、逆ケース、剥ぎ取ったモデルの妥当性ときちんと検証できてますよ という領域とその下の合わせ込みを行った領域があってそれを一体としたものです。
0:21:19	今度は、作ったやつについてはそれプラス須藤知見として深部ボーリングの知見と、強い地震計の知見があって、
0:21:27	それに基づいて、今まではこの範囲でやってたものをこの範囲まできちんと検証できる形にした上でその下の合わせ込みをやっています。
0:21:37	ということだはずですので、その辺の前のやつはどこまで検証できてどこが押さえ込みだったと。
0:21:44	今回のモデルはどこまでが検証されていてどこが合わせ込みで判断。
0:21:51	そこで、そこで、深津どこまで合わせ込みで来てますどこから下は研修として特化したそっか下合わせ込みだけれども、ただそれによってそれは、江藤のモデルにおいてはこれだけのデータの差があるんです。
0:22:05	というのがわかるような形。
0:22:07	対比を1枚つけて欲しいです。
0:22:08	それがないと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:11	<p>どういう差分があっただからここまでの部分についてできましたっていう説明がしづらくなるので、</p>
0:22:18	<p>そこはご理解いただけますか。</p>
0:22:22	<p>東京電力杉本ですご趣旨承知いたしましたのさ、1枚でしっかり整理したいと思います。</p>
0:22:29	<p>そういった観点で99ページにですね少しそういった観点でまとめようとして作っていたものはあるんですけどもこれ今</p>
0:22:39	<p>いただいたコメントをすべてが反映できてるとは思いませんので、そういった観点でもう一度見直たいと思いますけれどもご趣旨承知いたします。</p>
0:22:55	<p>規制庁タニですはい。よろしく申し上げます。</p>
0:22:58	<p>あと続けてなんですけど、ちょっと13ページの内容について、記載内容ですね、確認というかちょっと。</p>
0:23:07	<p>させていただきます。</p>
0:23:09	<p>ここ多分とても大事なページですね、改めてこれ読んでみるんですけど。</p>
0:23:17	<p>この、</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:18	二つ目のポツですね、標準応答スペクトルの知見には、観測点より深部の増幅特性が含まれていると考えられると。
0:23:26	三つ目のポツで、それを受けて、1次元地下構造モデルを用いて1、1次元地下構造モデルで評価できるよみみたいなことが
0:23:39	書いていると思うんですけど。
0:23:41	この、
0:23:43	二つ目から三つ目のポツの間が若干何かこう抜けてるような気もしてまずんで、加えて、ここでこう話してるのは、
0:23:53	三つ目のポツで話してる中、1次元地下構造モデルを用いて考慮するという部分は、これはあれですかねこの2200メートル、Vs2200メートル以上の地震基盤相当面より、
0:24:06	上が1次元構造モデルで、いいんだと言った趣旨でこの二つ目のポツから三つ目のポツに行ってるってことなんですかそれともこの、
0:24:16	1次元地下構造モデルっていうのもっと深いところから、
0:24:21	使えるようなモデルを、
0:24:23	作ってるんだと。
0:24:25	というような趣旨なのかっていうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:28	ちょっとこのAとかとの関係でね、わかん。
0:24:31	ちょっとわかりにくくて。
0:24:34	どうどういうこの考えなのかっていうのをちょっと確認さしてください。 い。
0:24:40	東京電力杉本です。考えとしてはですねまさに今ご議論いただいているような1次元モデルの評価の代表性みたいなところのお話をさせていただいていて、
0:24:54	到来方向でその違いがあるようなことも、この際でわかっておりますけれどもそういうことも踏まえた上で、1次元モデルを使って、この2200から、まさにその解放基盤までの区間ですけれども。
0:25:09	ここは1次元モデルで代表させて評価をすることができるんだというご説明をさせていただいているそのまさに方針をご説明させていただいている部分です。そこが少し飛んでいるのかってのちょっと改めてそこ。
0:25:23	今までの検討も含めてちょっと確認をしていきなり、対応したいと思えますけれども趣旨としてはこういう部分で、あとは検討の形から申し上げますと結局最終的にはこの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:35	荒浜側の特異な増幅というところについては補足検討ではございますけれどもそういった形でも検討を加えさせていただいているという、位置付けとしてはそうってことで、
0:25:49	はい規制庁タニです。そうですねだから今回の地下構造モデルっていうのは今日、標準応答SPECTの検討に用いてるだから、特に2200よりも上で、1次元地下構造モデルが使えるかどうか。
0:26:03	そういったことがここで、
0:26:05	言わんとしてることはそういったことも、
0:26:09	含めて書かれているっていうことで、事実関係を確認しました。わかりました。
0:26:41	規制庁谷です。あとちょっとですね、
0:26:45	これも書き方の話かもしれませんが、
0:26:49	二つ目のポツの、
0:26:53	標準応答スペクトルの知見には観測点より深部の増幅特性が含まれてい ると考えられるっていうのは、
0:27:01	これは東京電力の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:03	考えなのかなっていうふうに思うんですけど、これちょっと検討チーム の中では、こここれが、
0:27:10	福含めた標準応答スペクトル。
0:27:15	標準応答スペクトルでありますよとかそういった形では、
0:27:19	特にですね明言しもしてなくて、
0:27:22	そう。
0:27:26	東京電力としてはそう考えているよという、
0:27:30	ことですかね。
0:27:32	ちょっと規制庁側としては、そこまではっきりこう言ってるようなもの ではないですよっていう、ちょっと。
0:27:40	イメージが。
0:27:43	高架下かかれと書かれるとちょっと違うのかなっていうふうに思ってし まうんですけど、ちょっと何かその辺、事業者の考えなのかどうか とか、ちょっと教えてください。
0:27:55	東京電力杉本でそこはおっしゃる通りで事業者としての考えであってこ ういう、こういうのが何かの検討チームの報告書なり何かに、こういう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>ことが書かれているということではなくて我々としてこう解釈している どうか、</p>
0:28:10	<p>観測点までのいろんな増幅の影響等は含まれた記録を使ってやられてい るということは事業者としての考えですそれはおっしゃる通り、</p>
0:29:09	<p>規制庁谷です。はい。考え、確認できたんですけど、あとはですね。</p>
0:29:16	<p>ここのさっき、私行間が、</p>
0:29:19	<p>っていう話をした中に、例えば何かこれ後半の、</p>
0:29:25	<p>パソコン出てくるんですけど、補足の時に荒浜側のこの増幅を考慮した 場合みたいな、もし増幅を考慮してもっていう話をされてますけど。</p>
0:29:37	<p>そこに、</p>
0:29:39	<p>書いてるように1次元、</p>
0:29:43	<p>どこだったかな。</p>
0:29:46	<p>1次元地下構造モデルにより反映することが可能であるってというような 考えがこの121ページに書いてるわけなんですけど、こういったことは この13ページで、</p>
0:29:57	<p>1次元でやりますよって宣言の中にこう書いてた方がなんかわかり やすい気がするんですけども、その辺はどうでしょうか。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:11	東京電力関本です。はい。そうでしょ。はいちょっとそこの整合はちょっと今一度確認して記載はちょっと改めようとは思いますが基本的な方針としてはそういう像特性もあるので、
0:30:24	何でしょうもとの説明の話としても基本的には
0:30:32	規定しての方でちゃんとF B断層による増幅というものも考えて評価できると。ただしそういった場所でその特定せずが発生する可能性もあるので補足現象として追加したと。
0:30:43	そういう説明の流れはこれまでご説明させていただいた通りだと思えますのでちょっとそことそごが生じないようにちょっと今一度こちらの方針のところについても、立ち戻って
0:30:56	もし記載の流れを規定にしたいというふうに思い
0:31:01	はい。規制庁谷です。はい。お願いします。
0:31:09	規制庁の伊田ですけど、ちょっと確認、東京電力としての考え方の確認 なんだけど。
0:31:18	今回の
0:31:21	東京電力がやってる基本的な考え方、ベースになっているのは、
0:31:26	地震基盤相当面。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:30	から解放基盤まで、
0:31:32	そういういわゆる柏崎の地点で上げてきたときにどうなるのかっていうことを検討するモデルだという位置付け。
0:31:41	で、
0:31:42	それからその、
0:31:43	敷地の中で褶曲なりがあればそれは考えなきゃいけない。
0:31:49	だけれども、
0:31:51	伝播過程に増幅なり減衰なりがあるということについては、今回のモデルでは考慮する必要がないという、
0:32:00	考えのもとにモデル化してるんじゃないんだっけ。
0:32:06	東京電力杉本です。そこはおっしゃる通りだと。
0:32:11	はい。そう。そう。
0:33:09	規制庁ナイトウ的ですけども、でね、そこをちゃんと、
0:33:14	1 ページでこういう考え方なんですってどっかに書いてある。
0:33:29	だから 13 ページはそれに近いことを書いてあるんだけど、伝播過程の増幅が標準応答スペクトル文に含まれてるからとか、いう方が前面になっちゃっていて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:43	今さっき言ったような考え方で作っているんですけど、だから敷地の直下の不整形の影響についてはきちんと検討して、
0:33:54	このモデルで代表できるってことを検証してます。そこはこのページを見てくださいねとかっていう飛ばし方になっていなくて、
0:34:06	あくまでも東京電力が今回、
0:34:09	言いたいというのは、
0:34:12	多分、全体を見てみるとさっき言ったように、あくまでも地震機は相当面から、曾田の柏崎の敷地論として見たときに、地震基盤相当面から解放基盤までの、
0:34:25	速度構造なり減衰なりってのをきちんと把握をして、解放基盤表面での地震はを作るための、
0:34:33	地盤モデル。
0:34:35	そして観測記録なり、P S 検層なりを使って同定をしたモデルとして設定をしました。
0:34:44	ていうことを、
0:34:46	だと理解した、してるんだけど。
0:34:49	はい。その通りでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:51	ですからそこがさどっかにストレートに東京電力の考えて書いてないような気がするんだけど。
0:34:58	なあ。生じましたそういう意味でもまさに13ページでそれをちゃんと整理すべきだと思いますので、そこをしっかりしたいと。
0:35:08	そうですね。ちょっと。
0:35:10	規制庁だからそこにポツブルーマイナリー表情とスペクトルには、観測点より深部の増幅特性やこれ、伝達過程のことを言ってるんだと思うんだけど。
0:35:22	それと、そんなのはどうでもいいということなんじゃないの。東電としてはそこは、検討の範疇外ですって言いたいんじゃないの。
0:35:30	そこはおっしゃるとそうですねこの深さ方向の判別がそこがちゃんとされていないのでこういう今ご指摘いただいているような不明確なことになってるように思いますので。
0:35:44	そうですね。そこを整理させていただきたい。
0:38:15	規制庁谷です。
0:38:18	あとですねちょっと話が、
0:38:20	ぐっと変わってるんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:22	地下構造モデルの、
0:38:24	話ばかりこれまで結構してきているんですけど。
0:38:30	前へ数。
0:38:33	と比較するときに、解放基盤表面での、
0:38:38	標準応答スペクトルっていうのを出してるわけですけど、これ何か
0:38:45	今まで、
0:38:48	標準応答スペクトルの会合で、議論してきたサイトだとかは、幾つかの 方法で、具体的に S_s と比べるような、
0:38:59	スペクトルを作ったりして、それが何か幾つか検討されたりしてるんで すけれども。
0:39:07	今、
0:39:08	東京電力の資料では、基本的にはこれは
0:39:13	ランダム I S O で波を作って立ち上げてるようなやつを、
0:39:18	比べるよっていう、他にも何かちょっと書いてますけどあれは、何か直 接比べてるようなものではないんだと思うんですよね。そういったちょ っと幾つかの方法っていうのは何か検討はこれまでされ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:32	<p>るんです例えば応答スペクトル比で比較してみたりとか他のサイトでは されてると思うんですけど。</p>
0:39:40	<p>その辺どうですか。</p>
0:39:43	<p>はい東京電力杉本です先行サイトでそのような検討がされてるっていう のは承知してますので、真奈美の作り方として柏崎も</p>
0:39:54	<p>まさに中越沖地震等観測記録ありますので、そういった観測位相を使っ</p>
0:39:59	<p>て、違うその波を作り方をしてあげたときに、そういう検討はもうすで に行っていて結局その波を作った時のノートスペクトルのばらつきと いいですかそういうそういった話だと思いますのでレベルとして何か結 果が大きく変わるというものではないというのは</p>
0:40:18	<p>それは先行サイトさんとも同様でそれは柏崎での検討やって確認をして いますので、そういった点では説明性の向上という観点から、少しそう いったケースも資料に、</p>
0:40:30	<p>追加させていただければというふうには思います。</p>
0:40:33	<p>今、柏崎のこのSSとの崩落の関係を見ましてもぎりぎり収まっている ということではないのでそういったばらつきを考慮しても崩落の関係に は、</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:43	影響ないということ等は確認してますので、そういったところも含めて しっかり進めて向上させるということで追加させていただければと。
0:40:54	規制庁の谷です。そうですね検討もされてるということで、その検討さ れて今の説明がこっちの。
0:41:01	何ていうんすかね。
0:41:02	ランダム位相の方が主の種の説明になるんだよってということで一応他の 検討も当たってるっていうことは確認できましたし、ぜひ資料にしてい ただけたら。
0:41:13	こちらの方も説明性高いものになっていくんじゃないのかなと思います ので、お願いいたします。
0:41:36	規制庁の相田ですけど、ちょっと確認なんですけども。
0:41:39	刀禰、荒浜蒲生港蒲生許可の時に2次元地下構造モデルを作ったって、 敷地の褶曲の影響というのは見てるんだけど。
0:41:49	その結果だと、1次元ではできませんと言っていてというな褶曲構造が あるのでそれ、
0:41:57	どこで、取るかによって結果変わっちゃいますっていう結論だ。
0:42:02	言ったような気がしているんだけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:05	何で今回のやつは、
0:42:06	1次元で代表できるとしているんです。
0:42:13	東京電力井本です。褶曲構造の影響によってその南西方向から来る波だけが特異な増をするというようなことはこの1次元モデルでは再現できないものと、
0:42:27	いうふうに考えていて、なので、そこは
0:42:32	到来方向別の検討が必要ですし、それを踏まえて観測記録に基づいてS sは評価すると。
0:42:40	いうことで許可の時はやっていっている。
0:42:42	今回はまさに先ほど申し上げたように赤いところから地震基盤相当から解放基盤表面までのその増幅特性を評価するときに、
0:42:53	観測記録に基づいて観測記録がどういう増幅してるかっていうところを押さえながら、増幅率というのを評価をしてきたというところでそこについてはちゃんと
0:43:05	速記録と整合するような評価ができているというふうに考えて。
0:43:12	規制庁谷津ですけども、いや、到来別の方の増幅のものについては、
0:43:19	もう全くウーと地下構造として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:24	この直下の地下構造で反映できるものではないから、
0:43:28	既存の時でも方位別でもって係数掛けてやってるわけ。
0:43:32	でしょ。もともとね。
0:43:34	で、
0:43:35	E G F だから、そ、直接通解放基盤に入れてるとはいえ、
0:43:46	ずっと種地震が違うからそこは増幅使ったわけだね。
0:43:52	第3アスペリティ
0:43:55	じゃないから、
0:43:56	下から敷地の下のものを、下から上へのモデルとして見たときにも、
0:44:06	2次元地下構造モデルって形で褶曲に直交する形で切ってあげて、
0:44:15	寺泊層なりCSOなりの褶曲、
0:44:19	ウーの状況で、それぞれ場所によって速度層が、
0:44:24	深さも違うし厚さも違うことになっちゃうので、
0:44:29	5号機のモデル作った場所とか測定されてるからそれは使えるんだけど、
0:44:37	それと違うところはやっぱり、ちょっと速度構造違いますね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:43	いうふうになってたんじゃなかったっけ。そのために水平アレー店でも って、
0:44:47	当てはめるとやっぱり速度層違う。
0:44:49	だけどそれを速度層にそれぞれに合わせ越えればよく、
0:44:52	比較的買うということが確認できました。
0:44:56	というふうにしてるんじゃないかなって。
0:45:00	はい東京電力スギモトです 1 課での検討自体は方ですけれどもよく 21 件的な影響で荒浜側が大きくなるってのはその種。
0:45:12	褶曲構造で、1 号機直下のところにだんだんその波が集まるような形 で、
0:45:21	なんていうか、伝わっていくというところの分析を、地味次元モデルで やってると。
0:45:26	それが 5 号直下にはそういう形で集まっていくものではないというのは これを 2 次元モデルでそれぞれ分析、
0:45:33	を行っているものですので、
0:45:36	こう、こういうことをやってください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:59	規制庁ですけども、だから今回の話、あれ、大宮戸川になるけれども、 だから5号機、いいのだからいわゆるS s 定めた地点である。
0:46:12	午後大きい地震計モデルの。
0:46:17	地点と、
0:46:18	それ以外の場所だと。
0:46:20	今回2200ウー以上のところを、の速度構造なり、層厚が、
0:46:27	影響するんだけど、場所によって違うんじゃないんですたっけ。
0:46:34	終局のところ、
0:46:37	これは
0:46:40	今回手術で46ページか。
0:46:42	46ページで、ここで作ってるところではこういう速度構造だけど、
0:46:48	ちょっと違うところに行くと違う速度構造と、深さ方向で速度構造の違 いがあるということについては、
0:46:55	許可でも認めていて今回も認めてる。
0:46:58	でしょう。
0:47:00	それはその通り。はい。
0:47:02	その中で、敷地を代表する形で標準応答スペクトルを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:11	2200 以上のところから上げるときに、今回の 1 次元としてこの五つモデルで代表できる。
0:47:21	というのはどういう考え方なんでしたっけ。
0:47:52	東京電力杉本です。地震動評価点とかその S s を定めるポイントとしては荒浜側では 1 号機の鉛直アレイの場所で大湊側では本県庁関連の場所という。
0:48:05	んところは今回の特定せずにおいても何らその、
0:48:09	変更があるわけではございませんし、比較するのは既許可の基準地震動ということになりますので、その時点で、評価をした。
0:48:19	江藤基準地震動との比較になるということで、この直下の地盤構造を使って 2200 から 700 万円。
0:48:28	そういうのはこれでやっている。
0:48:30	その敷地の中で揺れの違いがないのかどうかってのはまさに許可の中でも検討してますけれども、湊川の中ではその特異な増幅があるような場所がなく、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:41	午後の鉛直アレイの場所で大湊側の地震動評価については代表できると いう、検討はそれは層厚が違ってもとというところで、それは別に、全く 既許可の時も場所によって揺れが違うというご説明はして、
0:48:54	いないはずですので、そういった点で5の場所で代表できると。
0:48:59	いう。
0:49:00	のが
0:49:01	方向を今回、
0:49:04	の特定せずの、
0:49:06	評価の特定せずでもそういう評価をしていますし、今回の標準応答スペク トルに対しても、そういう訪問の場所で代表して評価をする
0:49:14	いうことには変わりがない
0:49:16	というふうに考え、
0:49:27	薬師寺ナイトウですけども、えっとねそうすると、事実確認としては、 この資料上は引っ張ってきていないと思うんだけどちょっと引っ張って きたらそこを教えて欲しいんだけど。
0:49:42	観測記録なりを見た時に終局で深さ方向で速度構造ってのは場所場所 によって違うんだけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:53	地震動として考えた。
0:49:57	時に、はどこだ辞表なのかな、得なのかな。
0:50:01	水平アレイで見てるから、地表なのかな、で見たときには地震動レベルが、荒、大湊側でばらつきがあるという形ではないので
0:50:13	この5地点、評価地点で代表できるっていう考え方。
0:50:20	既許可で説明した考え方に変更がないのでそのまま、どう、今回のやつ 評定とスペクトルとしてやる、地下構造モデルについても5地点の速度 構造なり減衰構造で代表できると考えているってそういうことですか。
0:50:37	東京電力杉本ですそうですね。ちょっとそこ。
0:50:41	承知しましたちょっと変わってのご説明とするものなんでしょう。整合 というか引っ張り方も含めてちょっと整理をしたいと思いますけれども その通り。
0:50:53	規制庁の田嶋です。それにちょっと関係して、
0:50:59	言っていたいた40ページにちょっとちょっと関係するその手前の37 ページから39ページのレシーバー関数がいろいろ、
0:51:10	同じ。
0:51:11	なんていうんですか、ボーリング。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:14	とかで観測したものでも、到来方向とかで違ったりしますとかいう、
0:51:21	のが、
0:51:22	代表性の確認で、37 ページから 39 ページで、
0:51:27	言われてるかと思う。
0:51:29	そこについて、
0:51:31	確認させて、
0:51:33	これは最初 37 ページに、やはりその 2 次元の地下構造モデルってのが あってそれを参考に、
0:51:43	褶曲構造による影響がありそうなので、
0:51:47	境界面の深さを変えて、
0:51:50	1 次元のモデルで、
0:51:54	パラスターをすると、レシーバ関数がこうやってばらつくんで、39 ページ みたい、要因として、褶曲構造のが原因で、
0:52:05	しかもそれは 2 次元的なものだっていうのは 37 ページの左下の図でも わかるんですけど、それが影響して、実際このレシーバ関数とかには
0:52:16	差が出てると、いうふうに、
0:52:18	考えている。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:20	けれども、
0:52:21	それを1次元モデルの。
0:52:24	境界面の深度を変える。
0:52:27	っていうので、このパラスタはしてるんですけど。
0:52:30	ただその深さを変えるっていう、麻生厚みたいのを変えるだけだと。
0:52:36	先ほどから議論があるように、37ページの模式図みたいに、
0:52:42	二次元の影響みたいなのは計算上は出てこないってことでちょっと わかりにくい。
0:52:49	ていうのがありまして、
0:52:51	例えば、
0:52:52	20、
0:52:53	モデルってのがもうあるということなので、
0:52:56	その2次元モデルで、直接、
0:53:00	パラメータスタディとか、
0:53:02	あと伝達関数への影響とかっていうのは、見れたらわかりやすいなと思 うんですけど、そういう検討とかって、
0:53:10	到来方向別に検討とかってやられてます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:22	東京電力杉本です到来方向別というのではないと思いますけど2次元モデルを使って入射角を幾つか振って、増幅率を見て、5号機の直下でどうなるかっていう検討については許可の時にやっ。
0:53:38	言っていますので、ぐるっと一周ということではないですけどそういう入射角の影響で二次元的な影響を見るという検討はこれまでも、
0:53:51	今回はあくまで今回のこれで評価しますと申し上げている1次元モデルに対して、こういったレシーバー関数の違いを踏まえて代表ができるのかどうかと。
0:54:05	ということで、そのどのよう、どのようの違いによってレシーバーの違いが出てくるかっていうのを
0:54:12	もう少しちゃんと分析を加えたというのが今回のパラメータスタディの位置付け。
0:54:19	規制庁田島です。
0:54:21	はいそれ芝か数がばらついてる原因を、今回、2次元的な褶曲構造だっというふうに、の影響だっというふうに、
0:54:32	一応、
0:54:34	想定した上でこの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:35	パラスターをしてるじゃん。
0:54:39	二次元。
0:54:41	大きな褶曲構造の影響で、
0:54:44	このような、
0:54:46	レシーバー関数のばらつきが、ただ 39 ページだと観測の
0:54:51	図にばらついた
0:54:58	伝達関数
0:54:59	内容ってのは 40 ページで出してもらいましたっけ
0:55:05	ここに集客。
0:55:09	意見ではなく、20、
0:55:11	計算しないと、褶曲構造
0:55:14	っていうのは、が、伝達関数に影響するかどうか。
0:55:18	です。
0:55:25	東京電力杉本です。震源を特定して、どちらの入射角でこういう条件で こうだということであると、これはまさにそういう影響だというふうに 思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:39	C、そういう検討をやった上で評価しないといけないということですが、 れども、今回震源を特定せずになりますので、
0:55:48	ラインを別というかですね震源がどこにあるというふうに決めない状況 で評価を行うと。
0:55:56	いうことございまして、先の議論にもありました通り敷地の 2200 か ら上げてくるときにどういう増を考えなきゃいけないのかと。
0:56:07	いう検討をしているという中で、
0:56:12	もちろん観測記録としてこのこれはモデルの同定のために用いた観測記 録なので敷地周辺 100 キロ以内の観測記録を使ってこういうレシーバー 関数の特徴が出るっていう分析はやってますけれども、
0:56:24	実際はまさに敷地の近傍で起きて、直下から上がってくるというような 評価を、
0:56:31	今回の特定せずの中で行っているわけですので、
0:56:35	ちょっとそこはその特定してあるならば何、何ていうかおっしゃっ てるような議論もわかるように思ういますし F O - B の時はそういう検 討もやってるわけですがけれども。
0:56:46	こういうことだと理解して我々検討しているということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:58	規制庁タジマですありがとうございました、震源特定し
0:57:02	せず、
0:57:03	のパー位も、
0:57:05	ある、あれですかね、何か。
0:57:08	その特定
0:57:11	でなくても、ある程度の、
0:57:13	近傍の、
0:57:15	領域、
0:57:16	どこで起こるか分からないというふうに、
0:57:20	考えて、
0:57:24	言ったようには思ってるのでちょっと、そこは
0:57:28	お考えは、
0:57:30	はい、わかりましたが。
0:57:33	ただ、
0:57:34	レシーバー関数
0:57:36	がこれで代表できるという、
0:57:39	話をするときに、到来方向別の話というのを今回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:47	入れて説明されてるといのがそうなると。
0:57:52	難しい。
0:57:53	何か、
0:58:02	とりあえず、はい。
0:58:04	お考えはわかりました。
0:58:07	規制庁ナイトウだけどうすけど、確認です。クラリファイのために、今特定してとか特定せずって言うから混乱を起こすんであって、
0:58:17	今回のやつは標準応答スペクトルを、敷地の直下の 2200 以上の速度層から、そのまま解放基盤の 700 ウー、
0:58:29	25、湊 700 か。
0:58:32	まで、敷地の、
0:58:35	直下から上げるという検討をやっているので、
0:58:40	ほぼ観測記録が方位別でレシーバー関数とかの山谷がちょっと振られてるとかいうのは、それはその方向のやつでもって見たときに、直下から上げるものについては影響してないってのを確認してるのでいいですって主張してるってそういうことだよ。
0:58:57	はい、おっしゃる通り。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:35	うん。
1:01:07	規制庁佐口ですけど、ちょっと確認というかですね、ちょっとやっぱり資料の一番最初冒頭のところかな。今回どういうデータが増えて、
1:01:18	どういう観点で、ちょっと前、
1:01:22	少し言ったかもしれないんですけど、モデルを作っているかというところで、
1:01:27	ちょっと気に気になるのが、
1:01:32	結局その、
1:01:34	使ってる。
1:01:35	ですね、逆改正月に使ってる地震っていうのは、多分、
1:01:41	許可から、
1:01:43	1個1個か2個ぐらい増えたが増えてないかぐらいかなっていうところなんですけど。
1:01:48	で、
1:01:49	それとプラスアルファとして、大深度の観測点を設置、前からしてたんですけどそこに、
1:01:58	観測記録が増えてきたっていうのが一番大きいのかなと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:02	で、
1:02:04	ただ
1:02:06	P S 検層って実は既許可以降にやったわけじゃなくて、これ既許可の時にもうすでにあっ、
1:02:12	やっぱ
1:02:13	んですよね。確かそのエスコート変え抜こうとかっていう、
1:02:17	もっこのれ一緒なのか別なのかわかんないんですけど。
1:02:20	ぜひそうすると、
1:02:22	何か、
1:02:23	新しく大新藤の P S 検層をやったのかっていうと、いやそうなのかもしれないし、これ実はちょっと場所が違うとかですね。
1:02:33	ちょっとその辺が、
1:02:35	わかりづらいので、21 ページの下で、
1:02:39	逆解析のこの探索範囲のところでは実は、
1:02:44	この P S 検層の結果とか反射法地震探査等に基づく 2 次元地下構造モデルを参考に設定ってあって、
1:02:54	当然その、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:55	こういった探索範囲を決める。
1:02:59	時に。
1:03:00	P S 検層の、
1:03:02	値を、どれくらい降るのかわかんないんですけどね。
1:03:07	で、例えばその食事も P S 検層の実値にもしてるのかもしれないですけど。
1:03:12	ちょっとその辺りが、
1:03:14	見えづらくて、実は、
1:03:18	21 ページで、今参考に設定。
1:03:21	としているのであればですね。
1:03:24	探索範囲、
1:03:26	これ 45 ページとか 46 ページって、
1:03:29	P S 検層結果と比較とか、
1:03:31	2 次元地下構造モデルと比較とかでよく合ってますって言うけど、
1:03:35	これ結局そっちの方に合わせ込み行ってるような解析をしているので、 要は逆解析をしてるので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:43	当然 P S 検層とか、二次元モデルとか、合うようになるはずなんじゃないかなとか。
1:03:50	で、
1:03:51	P S 検層と比較してみると、実は大深度モデルと S G F モデルっていう、
1:03:57	そんなに実は浅いところですね、浅いところってそんなに。
1:04:01	変わってるのかな変わってないのかなぐらいの程度で、実は両方とも何か。
1:04:06	よく十分あってるようにも見えちゃったりなんかするんですけど。
1:04:10	一方で、その 2 次元モデルとかと比べると、
1:04:14	ちょっと深いところだと、46 ページでいうと S G F モデル、藤大臣のモデルはちょっと違うかな。
1:04:22	とかってあるんですけどそのあたり、
1:04:24	ちょっとどういうデータがやっぱりもともとあって、今回の検討課からモデル作成にあたってどういうデータですとか、そういうものを、
1:04:35	使って、
1:04:40	検討してるかって言うのを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:42	やっぱりちゃんとですね、その進藤の話もありましたけど、その許可の時は何メートルぐらいまでしか結局最終的には使わなかったとか、
1:04:52	そういうところもちょっと整理をしてですね、どういうデータがあって、どういうデータが増えて、
1:04:58	で、
1:04:59	これも結局その、
1:05:01	大深度な、鉛直アレイの観測記録も最終的にはこの妥当性の確認っていう形でしか用いてないですよ。実際にこの伝達関数を使って同定してるわけでもないの、
1:05:14	ちょっとその辺り、
1:05:16	わかりやすく、少なくとも反応していただきたいと思います。
1:05:21	ていうのがまず1点。
1:05:24	で、ちょっとこれ資料全体見てて、
1:05:28	少し
1:05:29	感じたこととして、
1:05:31	やっぱり結構参考とか補足ってかなり多いんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:36	その1例が、98ページで参考でこれはS G Fモデルとかでやった場合に、についても比較してみましたとか、
1:05:47	しつつも、実はその前に、
1:05:49	実はいろんな手法で、レベル感の確認をしました。
1:05:54	ていうのも実はここに含まれてると。
1:05:57	思うんですけど資料見る限りではですよ。
1:06:00	でも98ページって、
1:06:03	何か。
1:06:04	すごく今回採用した地下構造モデルによる評価は、
1:06:08	いいみたいな。
1:06:11	ことを書きつつもですね。
1:06:14	実はそれって、ある限られた、
1:06:16	例えば短周期側とか、
1:06:19	そういう部分のことだけしか言ってなくて、
1:06:22	実は長周期側に目を向けると、必ずしもそうじゃないとかですね。
1:06:27	そういったちょっと、
1:06:28	正確性っていうんですかね実際に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:32	図と、それから書いてる文言。
1:06:36	ていうのが、ちょっとコントに、
1:06:41	ずっと図の現象をちゃんと言えてるかなとかですね、そういうところあるんで、そこはちょっと正確。
1:06:48	2 御社の考え方なんで、例えばそれをちゃんと短周期に着目するんだっ たらそれでも構いませんし、だったらそう書くべきだとは思いますが ど、そういった何かこう、
1:06:58	ずっと。
1:06:59	文言が、
1:07:01	そごがないような形ではお願いしたいと思います。
1:07:04	あと、幾つか私、
1:07:06	前回の面談の時に、確認させてもらってそれで新たに追加で検討してい ただいた部分に関しては、
1:07:14	私自身は
1:07:16	御社がされたことに対してはもう一応、
1:07:20	いいか悪いかは別として理解はしてますので、
1:07:24	だからそういう、ちょっといろんな、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:27	そこがあるかどうかってのはちょっと確認をしてですね。
1:07:32	修正が必要なら修正をしていただきたい。
1:07:35	ですけど、
1:07:36	あと、ちょっと考え方だけ最後教えていただきたいのは、
1:07:40	116 ページで 110。
1:07:42	516、これもちょっと補足っていう形なんですけど本当に補足でいいのか っていう話もあると思うんですけど。
1:07:49	結局、
1:07:50	S s 8 っていうのは、
1:07:53	もともと保守性を、保守性を考慮して、
1:07:58	いたものであって、今回そのモデルが、大臣のモデルっていうのに例え ば変えて、
1:08:05	S G F モデルって以前してましたけど、そうじゃなくてそれを大深度モ デルに変えたとしても、
1:08:11	これは結果的に今既許可の時よりも小さくなって、少なくともこの保守 性を考慮したっていう中には収まるので、
1:08:22	それで、基準地震動 S s 8 っていうのは、変える必要はない。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:27	ていう説明だと思うんですけど。
1:08:31	そうすると、
1:08:33	あくまでもこれは留萌なんですけど、留萌は、
1:08:38	516 ページで言うと、
1:08:41	一番最初の下にあって佐藤他に不確かさを考慮したものが、
1:08:46	もう基盤地震動があって、
1:08:48	それに敷地の部分、地盤物性を考慮と、今回は、この部分は多分、
1:08:54	次、引地野地分賦性を考慮というところは、
1:08:57	多分おんなじ。
1:08:59	形で、
1:09:00	評価されてるんですけど。
1:09:02	さらにそのあとの保守性を考慮って、
1:09:05	これって例えばどうされるんですか、まだ今そのフェーズにないかもし れないんですけど例えば基準地震動を、
1:09:12	定めるとかっていう、
1:09:15	時にあたって、さっきちょっと、ちょっとちらっとご回答いただいたの かもしれないんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:20	その辺がですね。
1:09:21	留萌の考え方と、今回の標準応答スペクトルの考え方、最終的な地震動として評価をする特定せず策定する地震動として評価するときに、
1:09:32	どういう形で、
1:09:33	評価をされるのかっていう、そこの考えは一緒にいいんですかそれとも、
1:09:38	今回は特にこういった保守性なんかを考慮しないとか、そういう考え方なんですか。ちょっとそこを教えてください。
1:09:48	衛藤東京電力杉本です。まず、このS8、以前にコメントいただいた部分については一つしましたデータを窓を使ってきてどこが変わってという点をご指摘の通りですので、
1:10:03	ちゃんとわかるようにね。
1:10:05	どういうデータが増えてそれに基づいてどうやってるんだというところについては、しっかりと言うと、
1:10:11	一応個別いただこう。
1:10:13	で、まずF8Cとの間関係についてはもうここでご説明をした通りですので、今回、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:23	結局その、
1:10:25	思いを評価した時については浅いところのその減衰もそのS G F量で一律に設定してやで設定しているモデルを使って、
1:10:36	留萌の評価をやってこういう値でさらに最後、丸めをして、
1:10:42	650 という形で策定をしていたというところでもありますのでより今回の方が現実的な浅い部分ですけれども、
1:10:51	今回の方がより現実的な評価にはなっていると。それに対してS s 8としては当然それに保守性が乗った形で評価をされているので、
1:11:02	これについては変更する必要はないし、これで保守的な評価になってますのでこれで施設の評価をしていく。
1:11:08	とか、
1:11:10	それと標準応答スペクトルを比べたときにどうかという話ですけれども、確かに留萌のように上乘せするという考え方もあろうかと思えますけれども。
1:11:20	現状のこの包絡を考えた上ではそう、それを考えた上で余裕がある状況ではありますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:29	ただですねそれを、あとはその全体の考え方として、結局、標準応答スペクトルでそういうことを考えた場合に、
1:11:37	これは留萌の時は一つの地震でこういったことを検討するということがあったのでこういう最終的な保守性を考えて上乗せをして丸めをする
1:11:47	と。 という考え方をとったという経緯があったというふうに理解をしておりますけれども。
1:11:51	地元スペクトルについては地盤の固さが十分にあれば 2200 上回るサイトであれば、それはそのまま基準地震動と比較をできる知見であるというところでございますので、それが
1:12:05	何て言いますか南岸サイトになった場合に、長さサイトでは、保守性はさらに上乗せする必要があると、いうことではないように思いますし、もともと 2 σ のレベルを考えられているというところでも保守性を見られていると。
1:12:19	という部分もあろうかと思しますのでええと、今回、その結果的にはそこまで S s として採用するという検討、今、現段階ではそうになっていないわけですけれども既許可の中に包絡されるという考え方をとっておりますけれども。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:34	なのでそことの整合を考えると、今の評価結果。
1:12:40	に、さらに最終的にこの丸めなり上乗せするなりということはないだろうというふうに考えている。
1:12:53	はい。規制庁佐口です。最終的に今お答えになった丸める必要はないと。
1:12:59	いうお話ですけどもそれも、
1:13:02	基本的には局のS sに対して十分余裕があるからってというのは多分、おっしゃった通りだなと思っています。ただ
1:13:13	そこは、
1:13:16	何ていうんすかね。最終的に今は他、基準地震動の変更があるかないかっていう、要否会合ですのでそこまでは当然求めるものではないんですけど。
1:13:27	ちょっと考え方として、
1:13:30	留萌のときの、
1:13:32	その基準地震動として載せ
1:13:35	策定の仕方と、
1:13:38	今回の標準とF I Tのされ方、それは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:42	一つ例えばその、
1:13:44	不確かさを減らす努力をしたというのものもあるのかもしれないですけどね もちろんその地盤構造同定なんか、
1:13:50	なんかそうそういうのが、
1:13:52	少なくとも今回はいいのかもしれないんですけど、将来的にもし本当に これが基準地震動に、
1:13:59	選ばなきゃいけないようになるようなものだったらちょっとそのあたり は、
1:14:04	きちんとその部門との考え方も含めて整合がとれるようにというのと、
1:14:09	先ほど留萌は一派で今回は結構統計的にされた、いろいろ統計的な処理 の方法云々っていうのありましたけどそうすると、ちょっとそこは、
1:14:21	何か 13 ページと言ってることがちょっと違うかなとも思ったりしたの で、
1:14:26	そこは、
1:14:27	御社の考え方なので、そこはどう、どうこう言うつもりはないんですけ ど。
1:14:33	少なくとも、一貫して、考え方に統一性のあるような形で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:39	お示ししていただきたいと思います。で、
1:14:43	ちょっとごめんなさい本当に細かいところで恐縮なんですけど、ちょっと私、
1:14:49	気になった。
1:14:50	なのか、43 ページで、
1:14:54	以前、
1:14:57	梅田ほか 2018 っていうのが今回筒井追加されたわけなんですね、前々回から、ちょっと私もこの文献見たんですけど。
1:15:06	今 43 ページ、植田ほか 2018 の、2 パラ目っていうんですかね小浦防衛庁はエスベック鳥居から云々とかあって、それを同時に再建することが困難になるケースがあることから、
1:15:20	石井坂関数の再現を有し、P 波とかレシーバー乾燥。
1:15:26	香田部の、
1:15:29	ところは、
1:15:30	二次ピーク周波数のみをフィッティングって書いてありますが、これって、文献に書いてないですよ。多分これ御社の。
1:15:38	推定なのか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:39	庁舎に聞かれたのかはわかんないんですけど、少なくとも文献で書かれてるのはそうじゃなくって、あくまでも、
1:15:46	一次の一次のピーク、この図の下に、下の図にありますけど緑の部分の、
1:15:52	ピッチングのアユのところを重視して、
1:15:59	同定を行っている。
1:16:01	で、さらに言うと、P E E Kの周波数っていうか周期を合わせることを目的にしてそのレベル感っていうのは、
1:16:10	特に
1:16:12	重要視してないっていうような、
1:16:15	ことが書かれてましたけど、少なくとも今ここに書かれても、文言自体は無限にはないですよ。でないんだったら何かそこさもこの文献でこ うやっていってるみたいに書かれるとちょっと違うのかなと思うので、 そこは、
1:16:30	御社がこう考えるんだったら、それは別に構いませんけど。
1:16:34	文献がこう言ってるわけじゃないんだったら、
1:16:37	ちょっとこれ引用の仕方、まずいかなと思うんで、そこは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:40	よろしいですかね。
1:16:43	東京電力杉本でございます承知いたしました実態としては、ここはちゃんと長さんに確認をして、結局おっしゃる通り理由のところは、文献には書いてないので、
1:16:55	どういう理由でかっているのは著者に確認をしてこの検討自体調査と一緒に検討しているものですので、そういった上で、こういった考え方で今回は検討。
1:17:08	いうことでございますけれども、ちょっとそこの引用の仕方は確認をしたことと文献に書かれていることはちゃんと分けて記載をするようにしたい。
1:17:26	規制庁の田嶋です。
1:17:29	2点ありまして1点が先ほどちょっとご説明をしたときに出てきた、西馬を震源の方で不確かさを見てますのでということに関して、
1:17:41	と。
1:17:42	補足しておきます。
1:17:45	標準応答スペクトルは、基本的に地域性極力排除するために、全国の記録を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:55	全国で起きた地震を収集していろいろな地域のものを集めて、
1:18:00	統計処理しているんですけども、そこにはざっと解析だったり、距離とか地盤の補正に関する不確かさがあるというのは、
1:18:10	もちろんあるんですけども、そこに関しては報告書にも書いてますように、
1:18:17	そういう不確かさがあるので、
1:18:19	統計処理をした上で、
1:18:21	最大包絡、全部を包絡するという考えを取らないところの理由として、
1:18:27	その不確かさがあるというのを考えていまして、なので、
1:18:33	最終的に 97.7%っていうのを非常価格してみた上で、年超過確率とか確率の観点とか他のいろんなことで確認をした上で、
1:18:45	地震動の大きさを最後決めていますので、
1:18:48	そこで見ているということが、柏崎刈羽の地点におけるサイト増幅特性を検討するときに、
1:18:57	適用できるというようなものではないとは思っていますのでそこは、
1:19:02	お伝えしておきます。
1:19:04	で、2点目が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:07	ちょっと話変わるんですが、63 ページ。
1:19:09	もう、
1:19:11	のところの既往の知見との比較というので、
1:19:15	前回会合で自分がコメントをしたところなんですけれども、
1:19:19	この図に関して、左側が水平アレイの結果との比較で右側が、既往の文献との比較なんですけど。
1:19:29	これで、
1:19:31	と結果の比較のところで、
1:19:35	同等の結果になってるっていうふうに書かれてるんですけども。
1:19:39	実際この赤線の大深度モデルのQ値よりも大きいQ値を示す、
1:19:46	試験結果だと、地盤同定の結果だったり、
1:19:49	文献の結果値というのがあるんですけども、特に左側の、
1:19:56	P R Aの結果とかですと、
1:19:58	同定結果は、大臣のモデルよりも、
1:20:02	Q値が大きいような、
1:20:04	結果っていう方が多いかと思います。これに関しては、どういうふう に、今同等というふうに書かれてるんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:13	どのように解釈。
1:20:14	出てるんでしょうか。
1:20:21	東京電力の藤岡でございます。
1:20:24	この図の解釈としましては色のバックグラウンドで書いてる水平アレイの、
1:20:31	上限とか下の1タニ。
1:20:34	点赤い点線で書いてる大深度モデルが収まっているということを踏まえまして、
1:20:40	これで同等であって妥当であるというふうな記載をさせていただいており、
1:20:46	ようです。
1:20:52	お考えはわかりました。そうであればそのような幅の中に収まっている。
1:20:58	というような説明も、図の説明として先ほど佐口からもありましたように、
1:21:05	能勢正確に損失の結果と、
1:21:09	その説明というのが対応するように、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:17	承知いたしました。すみません。
1:21:19	訂正させていただきます。
1:21:22	あとすみません東京電力杉本です。
1:21:25	1点目でご指摘いただいた部分については承知しております先ほどご説明の中でちょっとそれは説明が適切じゃなかったかもしれません柏崎の地盤増幅特性の考慮の中で 2σ があるからいいんだと。
1:21:38	いうようには我々としてもとらえております。そこは理解しております。失礼いたします。
1:21:59	規制庁谷ですけどさっきの63ページのお答えなんですけど。
1:22:05	説明、そういう説明であることはわかったんですけど、何かさっき、
1:22:10	タジマの方も言いましたけど、むしろなんかアクア回線よりもちょっと上に、グレーの線が、
1:22:17	多いような、その傾向については、特にこうなんか比べるものは一緒の区間。
1:22:26	なのか何か比べるものがちょっと違うから。
1:22:29	こういう傾向なのかとかその辺の
1:22:31	追加での説明とかって何かありませんか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:48	規制庁ですけど聞こえてます。
1:22:51	聞こえております。
1:23:06	谷ですけど、さっき聞いた確認したんですけど。
1:23:11	さっき私が言った発言を聞こえてたんです。
1:23:15	グレーの方が若干全体的に高めの値に見えるんだけどもっていうところは、
1:23:22	何かお考えありますか。
1:23:26	東京電力の藤岡です。ご指摘の点まで細かくは確認しておりませんので もう少し、どういうことが説明できるかということを確認して、
1:23:39	検討させていただければと思います。
1:23:44	はい、わかりました。
1:24:19	規制庁谷ですけど。
1:24:21	ウーさん今入られてる、聞こえてますか宇井さんの方からは何かありますか。
1:24:29	はい、経済町の宇井です私から少し、
1:24:33	1点ほどのコメントを、各確認委託等がありますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:39	前回私のコメント等によってファックスの話について大分資料も追加へ修正しまして、
1:24:47	考え方としてはわかりますよ。ただし、
1:24:53	これからの確認とより下の、先ほど内藤さんからもコメントがありまして、
1:25:00	今回の農対浸透のモデルの方が、位置付けとしてそもそも、
1:25:07	S T 応用のモデルではなくて、そもそも
1:25:11	能ちっ新基盤相当面以前ですね、V s 2200 程度ね。
1:25:20	鳥羽政権系統のより以浅の。
1:25:24	何か東部特性を説明ために、
1:25:28	わざわざ佃のモデル進むって。
1:25:30	今回の本線、
1:25:32	そういう話を聞いた上で、N a F M A C C S を持ち込んで、
1:25:38	持ってきてこのS E チームも説明できますよとか設置もとしても説明受けますよそこまで。
1:25:45	何かストーリーが作る必要なんではないか感じてますね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:50	ちょっとこの点にもう1回確認したんですけど、よう須藤やっぱマーク数を持ってくると。
1:25:57	結果的に、
1:26:01	今回形に
1:26:04	君津沖の方が小さめになって、
1:26:07	中越地震の方がやや大きめになってますと、Fマックスの管理に使わなくと、結果的に前回のモデルと同じます。前回のSteamデルの方が、やはり
1:26:20	旧津野自身が大きめになってますと、中長期の方がちょうど怒られて、
1:26:27	戸井田猪野法案 1000 S G側 S Gを計算と県がモデルで言うと、
1:26:32	新検討経路といろいろ貯めてありますから、どちらパラメーターをいじって結果的に観測記録を合わせることができますから。
1:26:44	マックスを、
1:26:45	この要因としてテクト的なのではないかと感じてます。
1:26:49	この考え方としても、この私のコメントをしてちょっと、
1:26:54	僕電力さんの考え方ちょっと確認したいと。
1:26:58	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:01	はい。東京電力杉本ですご指摘の点は本当に最もだと思っております。 もうまずはその今回のモデルを新たに設定をしたというところで、許可の時にやっていたSGF。
1:27:15	でのその妥当性検証のところにまず、まず大きな影響がないのかと。
1:27:20	ということで今回SGFの評価も今回のモデルを使って比較をさせていただいたと。
1:27:26	その結果は
1:27:29	モデルの位置付けとしては宇井さんおっしゃっていただいたようにその観測記録の増幅特性をちゃんと反映できるモデルにしているというところもあって短周期側では少し元のSGFよりも、
1:27:41	結果として小さくなるのではないかと。
1:27:44	それが観測記録よりもやや小さくなるような傾向もあるので、素行がモデルとして妥当なのかどうかの確認はする必要があると。
1:27:55	ということで、今回仮にという形で地盤増幅に影響あるパラメータとして、FMCCSを外したときに、
1:28:04	このモデルを使ってちゃんと地震観測の地震動レベルを上回るようなレベルが

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:10	地盤増幅特性として再現ちゃんとできるのかそれともそれを外しても、 全然地盤増幅特性として小さければ話になりませんので、そういうこと になっていないのかどうかというのをちゃんと検証したというのが今回 のところですので、
1:28:25	おっしゃる通り今回のモデルでS G Fまで全部できるというふうには 我々も考えておりませんので、ここはS G Fに用いるのであれば
1:28:35	今後さらにここから
1:28:38	パラメータの調整なり何なりっていうところは必要だというふうに考え ておりましてそこはおっしゃる通り、
1:28:45	今回のここの検討の目的としましては、
1:28:50	ここん大臣のモデルの地盤増幅特性が、仮称ではないということを確認 したいという趣旨で、こういった追加検討を行ったというところ。
1:29:03	ご指摘はご最もだと思いますそこは承知をさせていただきます。
1:29:13	衛藤んですけど
1:29:17	Fくすの話なんか難しい話ですけども、例えば今まですと、東京電 力図が作った資料が例えば、
1:29:28	資料、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:30	79 ページの方で、間書いてあります 79 ページをご覧ください。
1:29:36	その F マークす。
1:29:39	そもそも今見せての資料の方がボールを滑るだけですね、どうスラグから全体の臭気だより、
1:29:47	この周期より短いの方が全部影響、この位。
1:29:51	全部影響してますから
1:29:54	そうすると、伊田の方案線、必ずしも F M A R K - I I だけではなくて他の、ある種、R フェースの周期を % 大きい M A C E に設定して、結果的に全体をおろす客が全体。
1:30:08	レベル全体時大きくなるから、
1:30:11	そのような、もちろんやっぱマーケット調整で説明できますよ。
1:30:17	これが検討経過ありますからそこは引けしてないですよ。ただし、
1:30:22	ここが言いたいの方が、中越の場合で、その都度、この文章の書いたように 0 点。
1:30:30	一部下で手作業程度の手技体がピーク上げますあそこの部分が、そうすると i P h o n e マークするとかね、逆に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:38	二期分、今のストレス度を逆に中に考慮してもそれ小さくならないですね、そう同じストーリーにして、亀裂沖の場合で、
1:30:47	もし、もっと前のページをもっと戻り戻すと、例えば、
1:30:54	77 ページの方で、
1:30:57	観測を開けようから見ると、
1:31:00	青の感想は携帯と一番右の感想を上げると。
1:31:04	持病の方が青野 P E E K ありますね。
1:31:07	同じストーリーにして、もし本当のこの、このようなピークを、
1:31:12	このピークを、
1:31:14	ある種喜田大木フェーズ波をつくれれば、夫馬楠を持ってこないともう説明できますと、もうここ言いたいのはそこ、くすんが唯一ではないか。
1:31:25	このまま持ってくると。
1:31:29	ならないが説明できますよでも薄膜数。
1:31:33	必要なではないけど、もう同じ理由で考えますと、
1:31:37	そこ多分、資料の構成時が、
1:31:40	いろいろ考えて今回の法モデルの方がそもそも目的が、
1:31:46	そんな深いところも見てないから、モデルとして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:50	いろいろ考えますよとか。理由ロジでいろいろ考えますよ今回念のためにそのF A Xを計算してそこまで系統間に止まればまだわかりますけど、ファックスをそんなに強調すると。
1:32:04	今までの方が、取ると9電分もうまく使ってアスキーも計算機をまずね、F A Xの設定の出せよ今までの審査の中で設定をダムでもう1回、
1:32:16	確認しようではないかの意味合いもそのような、
1:32:19	もし、
1:32:20	国民投資っていうですね、第三者から見ると、マーケット妥当性としてもう1回見る必要なではないかの聞こえますが、その辺はもっと慎重で、
1:32:31	より慎重に考慮するあげますが、この辺はいかがでしょうか。
1:32:37	東京電力杉本ですご指摘はご最もだと思います
1:32:42	柏崎サイトについてはその基準地震動の評価自体はE G FでやってましてS G Fはあくまでその検証用ということでこれまでやってきたと。
1:32:52	いうところでこのF M A C C Sの値が妥当かどうかというところはレシピに基づいてやってるわけですけどもそこに組み込んで何か直したいという。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:03	趣旨ではないのでちょっとそこははいおっしゃる通り慎重にお話は整理をしたいというふうに考えますけれども、おっしゃる通りでFMACC Sで何でも解決すると思ってるわけでは我々もなくてですね。
1:33:15	ただその短周期側が少し今回のモデルを使ってそのSGFに適用してしまうと小さくなるというところの原因はしっかり確認をして、モデルが過小評価ではないというところの確認はちゃんとやりたいと。
1:33:28	いうところで
1:33:29	要因として一つ、そう考えられるのでこういう分析をしたというところでございますそれから79ページもおっしゃる通りで
1:33:39	79ページで見ていただくとこういう形で中越地震ではもともとSGFでやった時に少し観測ですとか、EGFの結果とよりも大きくなってるとな周期体があってそこから短周期側は全部大きくなってると。
1:33:54	というような原因もあってその確認をしてると一方で、これ中越沖地震の時はこういうふうにあんまり離れている周期体、特にこの周期体を見たときにこういうふうに離れているということもないので、
1:34:05	そうするとこの辺は中越地震の特徴なのかなというふうにも思っていますので、ちょっとその辺分析の方も少し

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:14	複数人、全部、その制度というようにはならないように、ちょっと少し 記載を見直しまして整理をしたいというふうに思いますご指摘は承知い たし
1:34:26	はい。
1:34:27	ありがとうございます。私のコメントは以上です。
1:34:35	規制庁サグチですけども。
1:34:37	ちょっと今のやりとりの中で、何か、
1:34:41	単純に、単純にというか、
1:34:45	地盤増幅特性が、過小に評価されてない。
1:34:50	ければっていうことが示せばいいって今おっしゃられたと思うんです けど。
1:34:54	これ、例えばですね。
1:34:57	だったらもう純粹に、
1:34:59	その地盤と増幅特性だけ。
1:35:02	比較すればいいんじゃないかっていう多分意見も出てくるんじゃないか なと思うんですけど、例えば、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:10	何か中越地震の時にわースペクトルインバージョンされてたと思うんですけど、これ中越沖でも例えばスペクトルインバージョンとかもされてるんだったら、
1:35:20	何かこう、
1:35:22	経験的サイト特性じゃないんですけど、そういうのって、
1:35:26	すぐ出るんじゃないかなと思ってそういうのと、今回の、
1:35:31	モデルS G Fも含めて、
1:35:35	要は理論的に出して、それと比較してどうなのかとかって、された方が何か一目瞭然かなと思ったんですけど。
1:35:43	なんかそんな検討とかは特に考えてないですか。
1:36:08	東京電力杉本です。ここ、ちょっとそこ。
1:36:12	今までも使えるものはいろいろ割り出してやって生田森ですのでちょっと今から追加ということは、
1:36:20	難しいようには思いますけれども
1:36:24	この、ここでお示しをしないとイケない。規制庁佐治ですけど別にされてないんだったら別にいいんです。もし何かされててすぐ出せるんだたら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:36	何かそっちのがわかりやすいなと思っただけで、何か特にされてないんだったらそういう取りバージョンとか何か中越。
1:36:43	中越地震の時は何かされたような、何か今のまとめ資料とかの補足なんかにもあるんですけど。
1:36:50	Q A と今同じようにされているわけじゃなくて、なんかすぐでんでそうじゃないとかそんなだったら特に、
1:36:56	いいです。
1:36:58	その方が一目瞭然かなと思っただけなので、
1:37:03	はい。東京大学センター長承知いたしました。
1:37:18	規制庁の田嶋です。すいませんちょっと話が、37 ページに戻ってしまって恐縮なんですけれども。
1:37:25	点、先ほどいただいた回答で、
1:37:29	今回直下から入ってくる地震動を考えているので、基本的に1次元でということだったんですが、
1:37:38	地震動に関しては、
1:37:41	もちろん
1:37:43	地下構造の1次元モデルってのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:47	ある地点からの直下の一本のこの1次元でモデル化している。
1:37:53	だとは思いますが、
1:37:55	事象法自体は直下からこう入社してきたとしても、
1:38:00	やはり周辺の反射とか屈折を経て、
1:38:05	やはり、
1:38:06	2次元的な構造周辺がこうかなり広い範囲で安定して1次元であれば、 水平成層構造でその付近は、
1:38:14	近似できますけれども、周辺で、やはりくせ、
1:38:19	褶曲構造があるという場合は、幾ら鉛直に入ってきたとしても、地震動 ってというのはやはりその周辺の、
1:38:26	が横方向に府、
1:38:28	終局等してますとその影響を必ず受けると思いますので、
1:38:34	直下を仮定しているから、1次元の1本のこの、
1:38:40	モデルで、
1:38:41	いいというわけではなくやはり1次元モデルで表現してもいいとは思 う んですけれども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:48	に、周辺直近地殻が2次元的な構造になっているのであれば、その影響は地震動は受けますので、伝達関数の検討される際には、
1:38:59	やはり、
1:39:01	今回、伝達関数に関して、
1:39:04	影響がないとかって言うってしまうほどの、
1:39:09	テストみたいのにはなっていないと思いますのでそのあたりは、
1:39:16	そうですね。考え方というのを、もし今その直下で入って、
1:39:21	1次元の影響しか受けないという仮定でやってるのであればそれをきちんと明記していた
1:39:26	みたいですし、
1:39:27	地震
1:39:28	周辺の影響はもちろん、
1:39:30	受けますので、
1:39:32	そのあたり、
1:39:35	ていうのもところの検討がされてるかというのは、ちょっとわかるように整理いただいて、結果を示された方が良いかと。
1:39:47	東京電力杉本です。ご指摘は承知いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:52	おっしゃるご指摘の点はおっしゃる通りってそう、それがあって伝達関係が変わらないというところまで確かに申し上げるわけではなくてこのモデルをいくつか考えるときに、
1:40:05	結果的に設定したモデルウーにおいてその伝達関数は変わらないと。 で、現実現象のその伝達関数がどうかっていうのはこの後、当然観測記録を使って、大深度の記録を使って検証というのはやっていますし、
1:40:18	それは到来方向によらず
1:40:21	グループの敷地の各方向から来た地震はに対してばらつきも確認した上で、この、
1:40:27	記録自体との整合というのは別途確認をしているというところがございますのでここはあくまでそういうモデルとして考えたときにどうかという話でしたのではありません。そこが今いろいろ
1:40:40	なんでしょう考え方が混在しないように少しちゃんと整理して記載を、 我々としての考え方をちゃんと記載をし
1:41:05	規制庁タニですけど。
1:41:07	もう時間大分オーバーしてしまってるので、面談の確認事項はこれぐらいにしたいと思うんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:14	何か東電の方からはコメント一言とかありますか。
1:41:19	特にはないですか。
1:41:22	はい。確認は特にございませぬ。ちょっとご指摘を踏まえてしっかり、資料の方1からですね、整合等、記載の表現等をしっかりと、全体。
1:41:33	全体にわたって
1:41:35	見直しをかけたいと。
1:41:39	はい。規制庁谷です。それで資料の方、これからちょっと手を加えるってということになってくるとどれぐらいに数的にはかかりそうですか。
1:41:49	こちらも1月の初めにこれ最初受けてますので早めに会合とは思ってるんですけども。
1:41:57	強い今日、今この場でどれぐらい資料かかりますっていうのはちょっと答えにくいですか。
1:42:06	追加の検討ということでもないので記載改めて一通り見直しますの で1週間程度で対応。
1:42:17	いただきたいというふうには考え
1:42:22	規制庁タニです。今週中ぐらいに何かできるようなイメージです。来週頭ぐらい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:29	を切ると。
1:43:31	規制庁谷井です。今回線が調子が悪くなってるので、面談の方はこれにて終わりたいと思います。
1:43:39	どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。